

2019 年度青島日本人会 総会

議 案 書

2019 年 4 月 13 日(土)
16 時～17 時 30 分
於: 頤中皇冠假日酒店

第 1 号議案 2018 度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2018 年度会計報告

第 3 号議案 2018 年度会計監査報告

第 4 号議案 2019 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2019 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2019 年度 収支予算案

以 上

第1号議案

(1) 2018年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
吉川 宙

1. はじめに

会員の皆様には日頃より青島日本人会の運営、活動に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本日は御多忙、また週末にも関わらず本総会に御参加頂き、誠に有難うございます。

青島日本人会の2018年度活動もこの本総会を最後に終了いたします。2018年度は6月の上海協力機構会議開催という大きなイベントが青島であったほか、事業環境としては、米中経済摩擦、中国経済減速の顕在化、急激な人民元為替相場の変化など我々の事業活動へ少なからず影響のある出来事がありました。一方で、日中政府関係の正常な軌道への復帰などのプラス要因となる出来事もあった1年でありました。

我々日系企業の事業環境に関する変動は先ほどのお話のようにプラスマイナスいろいろあろうかと思いますが、税務、環境・安全など各種当地法令、規制の運営の精緻化、厳格化が進行してきています。中国政府は法令に基づく統治を強く打ち出している現在、我々外資企業としても中国のルールをよく理解し、適切に対応することが求められております。そうした中、我々青島日本人会の商工会セミナーや会員企業同士の情報交換がより一層重要になっていると実感しています。

2. 青島日本人会の活動について

このような状況の中、明るく元気な日本人コミュニティとしての従来からの青島日本人会をさらに発展させてゆくべく今年度も活動してまいりました。

2018年度の活動内容の詳細につきましては、後ほど各部門担当の理事より御報告させていただきますが、会員皆様の御支援、御参画のもと、ほぼ計画を予定通りに実施することが出来ましたし、一部新たな活動も行いました。

商工会活動においては主要活動であるセミナーが活発に開催されました。生活文化会では各種イベントも多く多くの会員が参加し、一体感が醸成されつつ、盛り上がったものとなりました。日本人学校についても生徒数も安定的に推移、運動会はじめ様々な行事も活況を呈しておりましたし、懸案事項の解決も進捗しました。また、総領事館と共同で様々な活動を活発に行い、多彩な活動を行うことが出来ましたし、地方政府との交流も活発に実施することが出来ました。

一方で会員企業の減少のみならず、一企業あたりの日本人駐在員の減少や現地当局の法令順守や運用の精緻化、厳格化が求められている中、日本人会運営に関し、様々な課題が表出、鮮明化してきております。理事会運営のほか各種活動においてもより一層の工夫が求められておりますし、場合によっては見直しの検討も必要な状況となってきています。

これまで先輩方が築いてきた青島日本人会の良き伝統を継承しつつ、新しい環境に即したあり方を模索していくことが、今後も我々に課せられた課題であると考えます。そうした課題にあたっては、会員企業それぞれの考え方や立場の相違もあり、様々な議論となるかも知れませんが、明るく元気な日本人コミュニティとして発展を目指すことに変わることはないと思います。引き続き会員のニーズや環境変化に即した青島日本人会のあり方を会員皆様と模索してまいりたいと考えます。

最後に本年度の活動にご尽力、ご協力頂いた会員皆様にお礼申し上げますと共に、各種活動にご支援いただいた総領事館に感謝申し上げます、私からの活動報告とさせていただきます。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 小松 宏彦

副会長 宮本 典和、重岡 佐知子、松沢 隆

佐藤 冬樹、松村 淑子

1. 活動実績報告

青島日本人会商工会は、企業活動に関わる有効な情報交換の機会を提供する事を主要目的として、以下の三つを中心とした活動に取り組みました。

- 1) 会員企業の業種・業態に応じた分野別の四つの各部会内での、情報交換・交流会・社外見学会などの実施
- 2) 専門講師による会員にとって関心の高そうなテーマ・事業活動に役立つであろうテーマのセミナー開催を通じての情報発信、および学習の場の提供
- 3) 政府関係機関との交流(目的:①情報交換 ②地域経済・社会に深く関わる各企業の姿・活動のアピール ③課題や理解・協力の訴求)

各部会の活動実績につきましては、各部会長から報告をお願いすることとし、私からは2018年度に実施したセミナー、およびその他の活動内容について報告いたします。

2. 活動実績

1) セミナーの開催

- ① 第1回(7/30 ジェトロ青島事務所共催)

『中国ビジネスの基礎知識と最近の会計・税務トピックス』

PWC 上海事務所 吉田 将文 氏

PWC 青島事務所 加藤 雄次郎 氏

『税関企業信用管理弁法の解説』

ジェトロ青島事務所 横瀬 隆 海外投資アドバイザー

- ② 第2回(9/6 ジェトロ青島事務所共催)

『中国深圳の現状 ～ イノベーションの動向を中心に ～ 』

ジェトロ広州事務所 天野 信也 所長

- ③ 第3回(8/27 在青島日本国領事館共催)
『第十九回中国共産党大会の決定事項と新たな改革開放政策
～ 一帯一路との関係を絡めて ～ 』
青島大学/同一帯一路研究院 徐 修徳 教授/院長
- ④ 第4回(1/14 ジェトロ青島事務所共催)
『日系企業の国内販売における“落とし穴”と失敗事例』
北京律動律師事務所 章 啓龍 氏
- ⑤ 第5回(2/22)
『ケーススタディから見るケガと労災 ～労務管理上手な総経理の知恵～ 』
北京市大地(青島)律師事務所 熊琳 氏
- ⑥ 第6回(3/26 在青島日本国領事館共催)
『中国で事業を展開することに伴う法的リスクと留意点
～ “ 管理上手な総経理 ”シリーズ第2弾 ～ 』
森・濱田松本法律事務所(北京) 小野寺 良文 氏、鈴木 幹太 氏

2)その他活動

* 在青島日本国領事館への協力(開催案内・参加者募集など)

- ・6/15 青島税関による政策説明会
- ・7月 日中社会保障協定に関するアンケート調査
- ・9/13 無料法律相談サービス 9月13日
- ・10月 天皇誕生日祝賀レセプションでの食品・飲料提供を通じたアピール企業募集
- ・11/21 第1回日中青年企業家交流会(⇒ 会員企業より約10名が参加)

* その他

- ・12/7 第3回山東省日本人会交流会参加(青島日本人会 会長・商工会長)

3. 総括

商工会では、会員企業の中国での事業発展、円滑化に役立つ活動を心掛け行ってきました。従来から実施の主力活動であるセミナーは、今年は合計6回開催しました。セミナーにおいては、税務、法務、労務など、会員企業の事業活動に直結するテーマに関する情報提供を行うと共に、今年度は「中国共産党の改革開放政策」や、昨今注目されている「深圳におけるイノベーションの状況」などの中国の現状に触れるテーマも取り上げ、いずれの回もセミナー・懇親会ともに盛会となりました。

セミナー以外の活動として、今年度については、新空港建設地区などの「視察」などの活動を実施することはできず、主に在青島日本国総領事館が主導された行事への日本人会のネットワークを通じての協力(情報発信や参加者の取り纏めなど)が中心となりましたが、そのなかの一つ、11月日中共催で開催された「日中青年企業家交流会」には会員

企業から 10 名ほどの若手ビジネスマンにも参加していただき、日中交流に大いに貢献していただく結果となりました。また、在青島日本国総領事館とジェトロ青島事務所の共催で開催された「第 3 回山東省日本人会交流会」に各地の日本人会とともに参加し、そこで意見・要望を取りまとめていただき、中国当局へ提出していただいたことはたいへん有意義だったと感じています。

商工会としては、1 年を通じて以上のような活動に取り組んできましたが、まだまだ改善や工夫の余地もあるものの、一定の成果は得られたと考えております。

なお、商工会の諸活動につきましては、在青島日本国総領事館に多大な協力と支援を頂きました。国際会議開催に伴う会員企業の事業活動に影響する事項の情報提供、セミナーの共催、中国当局の各種団体との交流機会の提供などなど、広範囲の多大なるサポートに対し、この場を借りて感謝申し上げますとともに、引き続き商工会活動への支援・協力をお願い申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

また、ジェトロ青島、膠州、黄島、城陽、即墨の各地区日本人会の皆さま、そして業務ご多忙の中、セミナー開催他の商工会活動に参加・協力をいただきました会員企業の皆さまにも、深く御礼・感謝申し上げます、私からの報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

《食品部会》

部会長 宮本 典和

副部会長 別所 良起、前田 裕之

1. 2018 年度活動報告概要

2018 年度の食品部会は「食品安全」と「現場を学ぶ」の二つの切り口で活動を企画し、会員の皆さま、ご協力をいただきました西海岸新区国際招商局の皆さま、訪問させていただきました企業さま、ご講演いただきました講師の先生等々の関係各位のご理解とご協力・ご支援によって、見学会を 2 回、セミナー 1 回の計 3 回の部会を開催し、多数の皆さまにご参加いただくことができました。

ご協力頂いた皆さまとご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

- ① 第 1 回部会(7 月 13 日:金) 青島琅琊台集団股份有限公司が黄島に設立した地ビール工場(青島金沙灘精釀啤酒有限公司)の見学
ビール工場見学、各社の自己紹介 (20 名参加)
黄島開発区「紅葉」にて懇親会(18 名参加)
- ② 第 2 回部会(11 月 30 日:金) 青島国際経済合作区の中核施設(中独エコパーク)及び青島藍科塗膜材料有限公司(リチウム電池セパレータの生産工場)の見学
青島国際経済合作区の紹介、青島日本人会及び日系企業の発展状況の紹介を相

互に行う意見交換会開催(25名参加)
黄島開発区「紅葉」にて懇親会(21名参加)

- ③ 第3回部会(3月8日:金) クラウンプラザホテルにてセミナー
テーマ:「改定食品衛生法:器具・容器包装ポジティブリストとは?その対策は?」
講師:厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課
課長補佐 近藤 卓也先生 (33名参加)
「ヴェルデ」にて懇親会(26名参加)

3. 2019年度の活動方針

2019年度についても、前年同様に、食品関連企業・関連施設等の見学と、食品関係の情報発信の二つを活動の中心に据えて、年3~4回の活動を企画していきます。
情報発信につきましては、引き続き在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所、在中国日本国大使館等と連携を密にして、会員の皆様に有用な情報をタイムリーに発信していきます。毎回の部会の後は懇親会を設定し、積極的な会員間の交流・親睦を図っていきます。

以上の3つの活動方針のもと、少しでも多くの会員さまに参加いただけるよう活動していく所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

《繊維部会》

部会長 重岡 佐知子
副部会長 杉田 貴史、青木 功

1. 部会開催状況

2018年度は、年3回の開催を目標とし、7月、11月、3月の計3回部会を実施しました。
今年度は、2回の市内のホテルでの開催、1回の現場見学、すべて部会終了後に懇親会も開催し、相互交流を深めました。

- ① 第1回 7月6日(金)
会議場所:クラウンプラザ 3F 会議室 (参加者数:18名)
懇親会:博多 (参加者数:16名)
- ② 第2回 11月9日(金)
現場見学:青島海関 試験室 (旧 山東省出入境検閲検疫局) (参加者数:16名)
懇親会:一休ちゃん (参加者数:17名)
- ③ 第3回 3月14日(木)
会議場所:クラウンプラザ 3F 会議室 (参加者数:26名)
懇親会:一休ちゃん (参加者数:12名)

2. 活動内容

第1回目は、新年度の初めての部会と言う事で、本年度の運営方針、年間予定等の報告・確認を致しました。

また、参加頂いた各部会メンバーより、会社の紹介も含め自己紹介して頂きました。

更に、北京市大地法律事務所 熊弁護士に「駐在員が直面する 2018 年の新しい政策～外国人指紋採集、最新移民管理動向～」というテーマでセミナーを実施し、ビックデータ化が進む中での注意点等を解りやすく説明頂きました。

第2回目は、例年は異業種交流という事で、異業種の工場見学を実施してきましたが、2018年度は青島海関の試験室を見学させて頂きました。中国内販については当試験室の合格書が必須であり、試験室内を一つ一つ丁寧に説明頂き、中国と日本の試験の違い等についても解りやすく説明頂きました。試験室の現場に入ることはなかなか出来ない経験ということもあり、非常に有意義な見学となりました。

現場見学の会はバスでの移動となり参加人数が限定されるため、「懇親会だけの参加も歓迎」を試み、良いコミュニケーション場が持てました。

第3回目は、ジェトロ様から、2018年度のアジア(特に中国)の日系企業実態報告をデータを下にご報告頂きました。昨年度との比較ができ、中国内での繊維関連日系企業の厳しい実態を再認識する事ができました。セミナー内容とは別に中国の消費者の日本製品等意識調査の結果、米中貿易摩擦による衣類産業への影響は？という資料もご準備頂き、参加された方にお持ち帰り頂きました。

また、煙台桑原紡織品整理公司の方より、近1年における依頼状況、及び各依頼に対する補修事例等をご説明頂きました。環境問題等の影響を受け、発生率が増加している問題についてのご説明は非常に参考になるものでした。

3. 2019年度の活動方針、抱負

日本の繊維業界が非常に厳しい状況が故に、こんな時こそ部会メンバーの情報交流を更に深めたいと考えており、年3回の繊維部会を2019年度も予定しております。

日程は未定ですが、2回目は、本年度も報告会形式の会義形式ではなく、現場での視察等を検討しております。

繊維業界が非常に厳しい環境下、また皆様お忙しい中で部会に参加して頂くこととなりますので、部会では、業界に参考になる情報提供、もしくは情報交換の機会を作り、参加メンバーにとって有意義な部会とできるよう、幹部で色々と考えていきたいと思っておりますので、本年度も何卒宜しくお願い致します。

《機械・電機・化学部会》

部会長 松沢隆

副部会長 武田裕之、端彰一郎、前田逸朗

1. 総括

2018年度は9月17日にクラウンプラザホテルにて、北京市大地法律事務所の熊弁護士を講師に「事例から見る中国の労務管理～最新チェックポイント～」と題するセミナーを開催し、その後、吉兆にて懇親会を開催いたしました。20名程度の方に参加していただきました。

2. 2019年度の活動について

機械・電機・化学部会では、会員企業様の事業領域が多岐に渡り、共通の課題を見出しづらいこと、青島市外に拠点を構える企業が多いこと、比較的業務負荷が高く、特に出張やアテンドが多いことから時間的な制約が多いこと、以上のことから部会の開始頻度が他部会に比べ少ない状況にあります。

従い、2019年度につきましても、年1-2回の開催を考えております。

そのような状況ではありますが、まずは一人でも多くの方に参加いただけるように、第一回部会を懇親会という形で開催させていただきます。詳しくは日本人会事務局より御案内いたしますが、4月26日(金)の夜に開催いたします。

純粋に懇親のみを目的としております。お時間が許す方は一杯だけでも飲みに着て頂ければ幸いです。

宜しく申し上げます。

《流通サービス部会》

部会長 佐藤 冬樹

副部会長 井上 薫、川田 正博、藤井伸明、廣田至夫

1. 総括

流通サービス部会は運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持っていただけるようなテーマの講演や、会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用いただければと考えております。

2018年度は、以下の通り計2回の部会活動を行いました。

- ① 第1回部会(7月24日:火) 懇親会
- ② 第2回部会(12月20日:木) 税務・法務セミナー、懇親会

第1回は年度初めの顔合わせということもあり、市内の日本食レストランで懇親会を行

いました。

第2回は、大手会計事務所プライスウォーターハウスクーパーズから講師をお招きし、中国における昨今の税務・法務のトレンドについて解説をいただきました。特に税関・貿易業務については、全国通関一体化改革、関税評価・分類ならびにロイヤリティ課税の動向、税関企業信用管理の直近の動向を解説いただきました。そのほかにも、個人所得税制の改正、ロボットによる業務プロセス自動化の動向など、中国での貿易、物流関連、現地法人経営に関して多岐にわたる留意点をお示しいただきました。17社22名が参加、セミナーおよびその後のイタリアンレストランでの懇親会を通じて講師と参加会員企業との間で活発な交流が行われ、ご参加いただいた会員の方々にも有益な機会をご提供できたものと思います。

2. 2019年度の活動について

2018年度は、できるだけ多くの会員にご参加いただけ、会員相互の業界知見や見聞を深めることができるような活動に努めました。

次年度もこのような方向性に沿って活動して参りたいと考えています。講演のテーマや見学・訪問先について、また部会活動のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

2019年度も3回程度の部会開催を予定しています。第1回(6月~7月中の開催を予定)は新しくご赴任された会員企業との交流を目的とする、懇親会を中心とした活動を予定しております。ぜひ会員の皆さまの多数参加をお待ちしております

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 森 賢司

副会長 川田正博、柳楽豪

酒井康雄、猪子悟史、福永護

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動、生活文化関連のさまざまな取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「7つの同好会(2019年4月1日現在)」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2018年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催でさまざまな行事を企画し、会員の皆さまのご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2018年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、報告申し上げます。

① 納涼祭り 8月25日(土)

「子供たちのために、子供たちが喜ぶイベント」として始まったこの納涼祭も本年度で6年目を迎え、麗晶大酒店(リージェンシーホテル)の屋上テニスコートにて中国人の方も含めて約400名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。6月に襲った豪雨により会場のテニスコートが甚大な被害を受け、復旧に時間を要しましたが、ホテルの方々のご協力もあり、無事開催がかないました。

祭り当日は炎天下の中での開催となりましたが、定番の「焼きそば」、「お好み焼き」をはじめとし、ここ青島にある有名店の美味しい料理に舌鼓を打ち、夏祭りの定番である「金魚すくい」、「スーパーボールすくい」、「ヨーヨー釣り」、「ストラックアウト」や「すいか割り」、「輪投げ」、「セガゲームコーナー」などのゲームは、最初から最後まで子供たちの笑顔と熱気に包まれました。

祭り中盤の盆踊りでは、PTA や婦人会、日本人学校の方々にご協力をいただき、大人と子供が一体となり、祭りはフィナーレを迎え、ご家族揃って日本の夏祭りを十分に満喫していただけたのではないかと思います。

② 青島日本人会運動会 10月27日(土)

例年同様、青島日本人学校の体育館にて開催。当日は約150名の方々にご参加いただ

き、赤、白、青の3組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競争、玉入れ競争、借物競争、チーム対抗リレーと各種競技に熱戦を繰り広げました。そして、今回も優勝の行方は最後のプログラムである綱引きに持ち込まれ、各組が死力を振り絞る熱戦となりました。最後まであきらめずに綱を引く姿は、競技に参加している人、応援している人の一体感を最高潮に高め、最終種目に相応しい盛り上がりとなり、逆転に次ぐ、逆転で最後まで優勝の行方がわからない白熱した運動会となりました。他の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

③ 第6回青島ジャパンデイ 11月3日(土)～11月4日(日)

2017年に引き続き、在青島日本国総領事館、ジェトロ、青島イオン、日本人会等の後援及び協賛により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデイが開催されました。会員企業を含む19の日系企業や団体が日本食、日本製品などのブースを出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、柔道・合気道・三味線・マグロ解体ショーといったデモンストレーションによる日本文化の紹介が行なわれました。

両日ともに、多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。総来場者数は昨年を上回り、また来場者の半数以上が訪日の経験を持っていることがわかりました。まだ訪日されていない方々も日本への関心は高いようで、ジャパンデイはジャパブランドの紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的を十分果たしているものと思います。

④ 新年会 1月20日(日)

青島日本人会最大のイベントである新年会を、ウェスティンホテルにて開催いたしました。大人・子供合わせて約300名の会員の方々にご参加いただき盛大な会となりました。オープニングの日本人学校生徒による迫力ある和太鼓演奏で幕を開け、ゲーム大会においては、子供達による羽根つき大会、参加者全員参加での〇×クイズでさらに盛り上がり、声楽、二胡演奏披露では神聖なムードに会場が包まれ、各同好会からは年間の活動報告、アピールを熱く行っていただきました。

そしてクライマックスの豪華景品が当たる「プレミアム抽選会」では会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表されるたびに、大人も子供も家族みんなの笑顔が絶えない、アットホームな雰囲気の中にも例年以上に盛り上がった新年会になりました。

⑤ 知的障害を抱える中国の青少年40名の室内遊技場体験

10月8日、日本人会の社会貢献活動の一環として、青島ジョイポリスにて知的障害を抱える中国の青少年40名の室内遊技場体験を実施しました。

本企画は、生活文化会が各種慈善活動を行う青島ライオンズクラブに相談する中、実現しました。(実際のイベントは、青島ジョイポリスと上海芸途公益基金会青島代表処が共同実施)

40名の青少年は、普段は職業訓練施設にいて、社会に出るための訓練を受けています。障害のため、普段は遊技場に行く機会はないとのこと。活動現場において、青少年等は、ジョイポリススタッフのサポートの下、各種アトラクションを存分に楽しむことができました。

本企画は非常に好評でした。中国側の慈善活動に参加する形で、青島日本人会の社会貢

献活動を行うことは効果が高いと考えられますので、2019 年度も企画を考えていきたいと思
います。

3. 総括

2018 年度に実施した納涼祭り、青島ジャパンデー、新年会の開催にあたっては、さまざま
なご支援、ご協力をいただいた関係各位、まだまだ経済環境厳しいなか多くの景品をご提供
いただいた会員企業の皆さま、開催前の事前準備、当日朝早くから会場で準備頂いた皆さま、
会運営にご協力いただいた婦人会、同好会、日本人学校の先生方をはじめとするボランティ
アの皆さまのお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることができ
ましたことをあらためて御礼申し上げます。引き続き生活文化会の活動につきましてご理解
を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、
「ちんたお文庫」を運営しております。長年銀都花園にあった文庫も今年は日本人学校へ移
転し、より充実した文庫数、蔵書環境が整っております、移転後の運用においては、返却、貸
出方法において改善のご要望もいただいておりますので、取り組んで参りたいと思います。更
に婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨット、卓球の体育会系同好会と写真、青島
歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大気汚染など私ども青島に住む生活者の安全と
いう面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたの
で、ご一読いただければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていけるよう取り組んでまいります
ので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《ちんたお文庫活動報告》

前期役員 富川、森、古田

後期役員 富川、森、武田

文庫蔵書総数	およそ 5,700 冊
新規会員年間総数	9 人
年間利用者延べ数	261 人
寄贈本年間冊数	241 冊

1. 役員活動内容

- ・アルバイトへの仕事内容指示、チェック(随時)
- ・文庫休館のお知らせ作成
- ・文庫内の大掃除の計画・実施
- ・蔵書整理(古い本の処分など)
- ・帰国者などの管理(利用者カード・ボランティア名簿)
- ・利用者状況調査(月 1 回集計・日本人会へ報告)
- ・各情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整(月 1 回)

2. 今年度活動報告

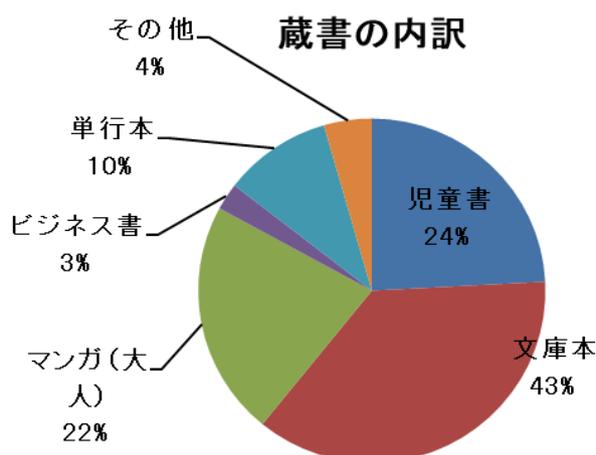
- ・役員会(日本人会にて 2 回)
- ・ちんたお文庫ボランティア(2018 年 3 月現在登録者 13 名)による文庫の大掃除
第 1 回(銀都):5 月 24 日参加数 13 名
- ・ちんたお文庫引っ越し 銀都→日本人学校内地下 (7 月)
引っ越し後のボランティアによる本の整理:9 月 5 日 参加数 8 名
- ・ちんたお文庫日本人学校内で再度引っ越し 日本人学校地下→会議室 B (11 月)
引っ越し後のボランティアによる本の整理:11 月 20 日 参加数 11 名
- ・ちんたお文庫内にてイベントの開催
(4・5・6 月のみ実施、読み聞かせとストーリーテリング)
- ・月刊青島『ちんたお文庫便り』の掲載(2016 年 4 月より季刊発信)
内容:おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内等
- ・備品購入(スリッパ、ノート、貸し出しカード、保護テープ)

3. 総括

今年度は、ちんたお文庫の日本人学校内への引っ越しに伴う 5 ヶ月間の休館をはじめ、開館時間の短縮(週 3 日(金土日)計 16 時間→週 2 日(土日午後のみ)計 8 時間)、国際会議、夏休みや春節時のアルバイト不在による休館等により、開館日数・時間が大幅に減少しました。また、引っ越し後は子ども向けお話し会がなくなり、交通の便が悪いことから、来館者数は昨年の 1/4 程度に激減しています。ぷくぷくさんの月 1 回のお話し会が終了してしまったことにより、未就学児のみなさんにとって来館のきっかけが減少し、本に触れる機会が少なくなったことは残念です。

蔵書整理に関しては、ボランティアの皆さんの協力により、引っ越し前の5月の大掃除で重複本・傷んだ本・長期貸し出しのない本等を処分しました。引っ越し後は棚ごとに分類し、みやすいように整理を行いました。現在の文庫は広くて明るいため本も選びやすく、椅子やテーブルの読書スペースがあるのはよくなった点だと思います。帰国される方などからの寄贈本で、少しずつ新しい本も増えています。

引っ越し後の様々な問題については、役員・アルバイトで連絡をとりあい、日本人会の方々に協力していただきながら改善をすすめています。



4. 次年度への課題

日本人学校内へ引っ越し後4ヶ月経ちますが、日本人の主な居住区域からは遠く、交通の便も悪いため利用者数は伸び悩んでいます。場所や開館時間等の周知も進んでいないようです。

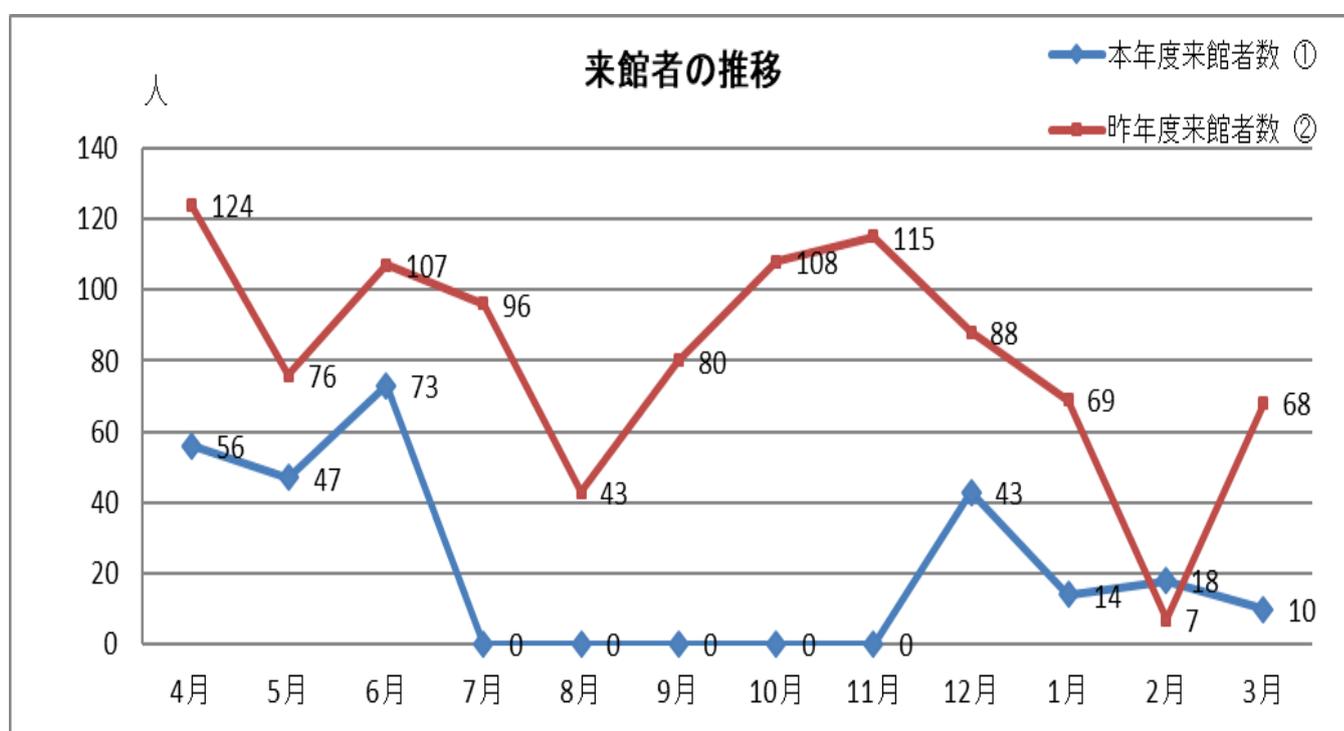
これらを改善するべく、学校来校時に利用できる返却ボックスの設置、日本人会での返却や寄贈本の受付、土曜授業時の開館時間調整(早める等)の検討を進めているところです。また、今まで以上にちんたお文庫について広く周知を行う必要もあると思います。

また、ボランティアメンバーも減少しており、日本人学校PTAや婦人会のチャット等で参加を呼びかけるも、新規に参加いただける方はいらっしゃいませんでした。次年度は役員を選出が困難になったため、仕事内容の見直しを行い3人→2人体制で進めていくことにしました。今後、幅広い範囲の日本人の方々にご協力頂ける体制作りが必要だと思われます。

次年度は引き続き引っ越し後の問題の改善に努め、利用しやすい環境作りを進めていきたいです。今後も青島在住の日本人の皆さんに気持ち良く利用していただける図書館になるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

資料:年間来館者の推移(2019年3月18日現在) ※7~11月は休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数 ①	56	47	73	0	0	0	0	0	43	14	18	10	261
昨年度来館者数 ②	124	76	107	96	43	80	108	115	88	69	7	68	981
増減数①-②	-68	-29	-34	-96	-43	-80	-108	-115	-45	-55	11	-58	-720
新規会員	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	9
新規登録本	9	15	0	0	0	0	0	0	40	20	50	6	140



《情報誌「月刊青島」》

編集長 福永 護

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「婦人会通信」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、会員の動向等の情報を掲載しています。またOBによる料理コーナー、「ふるさと自慢」といった連載もあります。

本年も日本人会会員の皆さまの役に立つ生活情報の発信や、青島におけるご縁を大事にして多くの会員の皆さまに誌面に登場していただけるような記事を引き続き掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は日本人会会員の皆さまのご協力・ご支援をいただき、そして皆さまに支えられて発信を行っています。WEB 情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

《青島歴史研究会》

青島日本人会は 2010 年に 20 周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

残念ながら、先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

2017 年度の交流では、戦前の OB で構成される「青島会」の解散会が 11 月 14 日グランヴィア大阪ホテルで全国から 100 名を超える参加者で盛大に開催されました。皆さんお元気で今回をもって解散することは仕方ないけれども名残惜しいというところを残し、万歳三唱して終了しました。なお会より日本人学校に寄付金をいただきました。

また、青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。こちらも 30 周年がマジかになってきました。「青島会」と連絡を取りながら、戦前と戦後をつなぐ「青島の日本人」の足跡を残す活動を続けたいと思います。

《婦人会》

会員数: 35 名 (2019 年 3 月 31 日 現在)

1. 総括

婦人会の活動としては、毎年恒例の 4 月の婦人会総会、6 月と 11 月の定例バスツアー、12 月のクリスマスといったものとなりました。活動の時間帯はやはり朝から昼食後 2 時間ぐらいまでとなっています。人数は昨年に較べ倍増しました。これは日本人学校に子供さんを通わせている方が役員になったため、学校生徒のお母様に声掛けをしてくださったためです。子供さんのおられる方はどうしても時間に制約があるかとは思いますが、引き続き入会をお勧めするようになりたいと考えています。

2. 2018 年度の活動報告

上記のとおり、4 月の総会后、6 月・11 月に定例バスツアーを、また 12 月にはクリスマス会を実施しました。本年の連絡は引き続き WeChat を主な手段としています。これはメールより便利な反面、画面に表示される情報量が限られるので、何度かリマインドを送らないと

見過ごされてしまうというデメリットもあります。

2018年度のバスツアーは、6月は黄島の亀田食品様、11月は上馬の丸治皮革様を訪問させていただきました。どちらの会社でも丁寧なご案内をいただき、大変ありがたく思っております。クリスマス会では、婦人会メンバーが二胡の演奏と声楽を披露しました。その後はビンゴゲームを行い、豪華とはいいがたい賞品ですが大いに盛り上がりました。

2018年度は定例会のほかに有志による個別活動も行いました。人数が多いとレストランでの料理講習会なども実施することができるため、さらに会員獲得に努力したいと考えています。

2017年度から行っている「お試し参加」も継続しています。これは会員獲得に一定の効果があるようです。

2018年度も日本人会WEB情報誌「月刊青島」の掲載は極めて少ないものとなってしまいました。題材がないというのが理由ですが、今後はその題材となるべき活動を作り上げていくことに努めたいと思います。会員が割引やその他のメリットを受けることができる婦人会カードは、2018年度は提携店舗をやみくもに増やすのではなく、本当に使い勝手がよいお店をとすることに重点をおきました。ただ、会員の家族構成はそれぞれ違うため、すべての人に使い勝手がよかったかどうかは確かではありません。

3. 活動内容

2018年4月	総会(La Luna Rossa)	12名参加
6月	定例会(亀田食品見学)	21名参加
11月	定例会(丸治皮革見学)	16名参加
12月	クリスマス会(十燕里燕窝品鑑会)	28名参加

※参加者には会員以外の方も含んでいます。

4. 2019年度の抱負として

2018年度は大きく人数が増加した婦人会ですが、まだまだご入会頂いていない青島在住の女性も多いかと思えます。広報活動が不十分だった2018年度を反省して、新しい年度はぜひ多くの人に婦人会の存在を知ってもらいたいと考えています。

WeChatを使用するようになってから、情報発信は簡単になった反面、長い文章は発信しにくくなっています。2019年度はWORDやPDFの形も利用して、やや複雑な情報もお送りするようにしたいと考えています。本年は地元青島の婦人たちと交流できる機会がもてたらと思えます。

5. 2019年度に予定している行事

婦人会総会:	4月
定例会:	6月、10月
クリスマス会:	12月

《ゴルフ同好会》

会長 矢部 人司
事務局長 川畑 啓樹

1. 活動状況報告

- ① 第 125 回 03 月 31 日(土) 石老人ゴルフ倶楽部 50 名
- ② 第 126 回 05 月 19 日(土) 青島国際ゴルフ倶楽部 40 名
- ③ 第 127 回 07 月 07 日(土) 華山ゴルフ倶楽部 49 名
- ④ 第 128 回 09 月 15 日(土) 海陽タイガービーチ 53 名
- ⑤ 第 129 回 11 月 24 日(土) 石老人ゴルフ倶楽部 46 名

延べ参加者数 238 名

2018 年度は上記の通り 5 回のコンペを開催し、2017 年度を上回る延べ 238 名の方々にご参加いただきました。

多くの方にご参加頂き、誠にありがとうございました。加えて、数多くの企業、団体、個人の皆さまから賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった皆さまにあらためて感謝の意を表しますとともに、今後も無理のない範囲で会員の皆さま方からのご協力、ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

また昨年度に引き続き 6 月に初心者向けのゴルフ練習会を実施しました。21 名の方に参加いただきました。

2. 2019 年度の活動について

2019 年度は 3 月 30 日に、『華山ゴルフ倶楽部』にて第 130 回を開催致しました。

次回の第 131 回コンペは、5 月 18 日(土)『華山ゴルフ倶楽部』の予定です。今年度は、以下の日程でコンペを予定しております。

これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい(毎回、日本人会一斉メールよりコンペのご案内を配信させていただいております)。

今年度も「敷居の低い、誰もが楽しめるようなコンペ」を開催していくとともに、ゴルフレッスン等、若い方やゴルフ経験の少ない方にも積極的に参加していただける企画を行っていく予定です。

ベテランゴルファーの方も、初心者ゴルファーの方も、青島で新たなゴルフの魅力を発見していただけるよう、皆様のご協力のもとで運営していきます。

- ① 第 130 回 3 月 30 日(土) 華山ゴルフ倶楽部
- ② 第 131 回 5 月 18 日(土) 華山ゴルフ倶楽部
- ③ 第 132 回 7 月 6 日(土) 未定
- ④ 第 133 回 7 月 6 日(土) 未定
- ⑤ 第 134 回 11 月 30 日(土) 未定

《テニス同好会》

会長 大橋 勲

1. 会概要

目的: テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数: 2019年3月現在、31名(男性21名/女性10名)にて運営

会費: 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2. 年間活動

定期活動: 毎週日曜日の定期練習

イベント: 5月 チーム内紅白戦

11月 ハロウィンテニス

12月 チーム内紅白戦、クリスマス会、深圳チームとの交流戦

3月 韓国チームとの交流戦

対外試合: 6月 青島市体育局杯(韓国、中国チームとの団体戦)

9月 青島杯(青島最大の韓国、中国チームとの団体戦)

10月 第38回秋季クラブ対抗戦(上海)

3月 第39回春季クラブ対抗戦(上海)

* 送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 31,053 元

18年度収入 32,350 元

18年度支出 25,069 元

次年度繰越金 38,334 元

3. 総括

2018年度も、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部され、活発にテニス活動を続けております。

メンバー一同は、日々技術向上を図っており、上級者については、一番のイベントである対外試合「青網杯」において、昨年のベスト4を継続するべく強化試合を重ねてきた結果、今年度も予選を突破し、決勝トーナメントではベスト8に入ることができました。そして今年も昨年から参加した上海開催の日本人団体戦に参加しました。10月は3,4リーグ優勝、3月は1,2リーグでベスト16まで進出することができました。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一

体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2019 年度は、上位チームは「青網杯」で更なる上位進出、初中級チームは、交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思いません。

《ソフトボール同好会》

会長 小森茂樹

1. 同好会概要

創部 21 年目になった今年も「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的にグラウンド内外で会員相互の交流を深めました。

2018 年 12 月末現在、一般会員 37 名(男性 37 名内子供 2 名)からなり、小森会長が会員より選出した 14 名の委員で運営委員会を構成しています。(運営・企画、会計、事務局の 3 部門と 2 チーム)

活動場所: 青島科技大学グラウンド

活動時間: 毎週日曜日午前 8 時 15 分～正午

年会費 : 男性 700 元、女性 350 元、学生 300 元、未成年 200 元、
家族・夫婦 1000 元

2. 年間活動

今年も 2 チーム制でリーグ戦を実施することとし 1 月のドラフト会議で本戦を戦う 2 チームの選手を決定し 3/18 に開幕戦、11/4 を最終戦とした 9 ヶ月に及ぶ青島ソフトボールリーグ戦 2018 を開催しました。

今年 6 月に開催された上海国際会議の影響により、3 週に渡り同好会活動中断を余儀なくされましたが、毎週日曜日に総当り戦 2 試合を実施、各チームが計 34 試合を消化し 11/4 の優勝決定戦を経て 2018 年度優勝チームを決定しました。12/8 に優勝チームと優秀選手の表彰を同好会総会にて実施しています。

3. 特別活動

5/13 に毎年恒例の黄島チームとの交流戦を実施しました。また、6/30 には杭州遠征を行い、青島・杭州・上海計 3 チームによる交流戦を実施しました。

11 月には上海で開催される華東大会に参加しました。今年も 1、2 部リーグに焼酎チームと清酒チームの 2 チームで参加しました。昨年ベスト 4 の無念を晴らすためベストメンバーで望んだ大会でしたが今年も両チームベスト 4 という悔しい結果に終わりました。この他、懇親会やゴルフコンペ、BBQ など多彩な行事を開催しました。また、日本人会主催の活動にも参加・協力しました。

1 月 ドラフト会議／新年会

3 月 オープン戦／前期開幕戦／プレイボールパーティ

5 月 前期終了／黄島チーム交流戦／活動中断(5/27～6/16)

- 6月 中期開幕／杭州上海交流戦／BBQパーティー／ゴルフコンペ
- 8月 中期終了／ゴルフコンペ／後期開幕
- 11月 後期終了／優勝決定戦／
華東大会 1・2部リーグ(焼酎チーム、清酒チームベスト4)
- 12月 同好会納会／忘年会

2018年度は帰任・異動に伴い15人の方の壮行会を行いました、14人の新入会員を迎えられることが出来ました。会員数は3年以上参加実績のない会員をOB枠とするなどの見直しを行い、昨年度対比17名減少と厳しい状況ではありますが、こうして同好会活動を続けられていることは、会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様のご支援のおかげと感謝いたします。ありがとうございました。2019年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同好会活動を推進していきます。

《ヨット同好会》

代表:西垣健作

会員:大人13名、子ども9名

1. 同好会概要

本同好会は青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与することを目的としています。

場所は青島オリンピックマリーナを主なエリアとし、週末船をレンタル、スクールレッスンを中心に活動しています。練習を通じセーリング技術の向上、体力作りをメンバー皆で楽しく行っています。

大人はディンギー(キャビンのない船)だけでなく、クルーザーレースにも参加を予定しています。

子どもたちはヨットスクールで様々な国籍の子供たちと一緒にセーリングを楽しんでいます。

メンバーは随時募集しています。6月には無料のヨット体験会開催を予定していますので興味のある方は大人、子ども問わずご参加ください。

2. 年間活動報告

6月上海協力機構会議開催の為、本年度はマリーナの使用が制限され、ほとんど活動できなかった。

9月5日～9日青島市オリンピックマリーナで開催されたCCOR-城市倶楽部国際帆船賽のFIRST21クラスに大人メンバー6名で参加。

7艇中初日二日目は7位、3日目4位、最終日4位で終了。

3. 2019年度の目標

- 子供達はディンギーレッスンを通じ海、天候、船の構造を学びヨットを楽しむ
- 大人はディンギー、クルーザーでの個人レッスン、レース参加

《写真同好会》

会長:牛坊茂和
事務局長:田村進一

1. 同好会概要

写真同好会では青島キヤノン様のサポートを受けて、毎月一回定例会(金曜の夜)を開催しています。撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん青島」に掲載されます。

2. 活動報告

納涼祭、青島日本人学校運動会にて撮影協力をさせていただきました。

定例会では、持ち寄った作品の感想を述べあったり、撮影方法、撮影の苦労話等でおなじ趣味の仲間たちで、楽しく開催しております。

不定期ですが、撮影会や撮影旅行を予定しております。

写真撮影にご興味のある方(携帯写真を含む)のご参加をお待ちしております。

19年度も皆様の思い出を記録するお手伝いをさせていただきます。

月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月13日	キヤノン青島事務所	生き物	携帯	自由
5月10日	キヤノン青島事務所	桜	携帯	自由
6月15日	キヤノン青島事務所	乗り物	影	自由
7月13日	キヤノン青島事務所	スマイル	携帯	自由
8月3日	キヤノン青島事務所	夏	流し撮り	自由
9月7日	キヤノン青島事務所	モノクロ	携帯	自由
10月10日	キヤノン青島事務所	食べ物	のんびり	自由
11月9日	キヤノン青島事務所	秋	携帯	自由
12月7日	キヤノン青島事務所	ぬくもり	寒いっ!	自由
1月11日	キヤノン青島事務所	クリスマス	携帯	自由
2月15日	キヤノン青島事務所	春節・正月	夕方	自由
3月8日	キヤノン青島事務所	海	携帯	自由

《卓球同好会》

連絡係:占部葉子
会員:18名(2019年3月現在)

1. 同好会活動目的

- ① 卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ② 卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日:

毎週水曜日 18:30-20:30

毎週土曜日 16:00-19:00

会費の徴収:

会費としては、場所代として当日参加者から、水曜日は1人あたり20元、土曜日は1人あたり30元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2018年度に実施したイベント

- ① 2018年4月 青島韓国人卓球クラブと交流試合
- ② 2018年12月 韓国仁川へ卓球オープングランドファイナル観戦
- ③ 2019年3月 上海で在中国日本人卓球クラブの合宿に参加

以上は卓球に関わるものですが、このほかゴルフや海釣り、また恐竜参観ツアーといった卓球以外でも楽しんでいます。

4. 2018年度の総括

2018年度は、毎年恒例だった青島国際商会杯がなくなってしまったため、国際交流は少なめになってしまいました。反面、自分たちで楽しむといった内向きの活動は、前の年度より増えたように思います。

5. 2019年度の目標

2018年度には毎回参加していたメンバーが相次いで帰国してしまい、毎回の参加者が集まりにくくなっています。また、せっかく初めて参加して下さっても、フォローが不十分なために継続されないといったこともあるようです。まだまだ「隠れ卓球経験者」はおられるはずなので、本年は「雨の日も風の日もできる手軽なスポーツ」を売り物に、会員獲得に努めたいと考えています。

また、上記のように国際紹介杯の試合がなくなってしまったので、自分たちで何とか青島にいる卓球愛好者の試合を企画できないかと思っております。

(4) 2018 年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井申明

副理事長 佐藤冬樹

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2000 年開校の補習授業校時代を経て 2004 年に創立した青島日本人学校は、2008 年に現在の新校舎が完成しました。本年度、金森孝子校長は、外国語(英・中)の授業形態の改善(また、小5・小6の授業数増)、学習機材の充実、図書館の利便性向上、また、児童・生徒のアイデアを活かした独自のキャラクター作り(パンたお)等において、教職員、児童・生徒と共に新たな施策の実行を行いました。大変充実した学習環境の下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼を持ち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、日本全国から集まった個性溢れ教育に熱心な教職員と共に、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成を行っています。

また、当校の大きな特徴として児童・生徒たちは学年の垣根を越えた友情を育み、青島現地小・中学校、下関市小学生派遣団、また当日本人会会員とも校外活動や日本人会イベント、職場体験・キャリア教育等を通じた交流を深めています。特に今年度は中学部でのクラブ活動「卓球」を通じて、第六十五中学校と交流を図りました。現代社会でますます重要視されている人と人との結びつき・コミュニケーション力の具備において得がたい経験をしています。

一昨年「日中国交正常化 45 周年」、昨年は「日中平和友好条約締結 40 周年」を迎え、李克強首相が訪日し、また安部晋三首相が実に 7 年振りに訪中するなど日中関係が大きく好転しています。また深刻化していた大気汚染についても政府が打ち出した様々な環境規制により軽減が図られ、特に春から秋にかけては気持ちが良い青空が広がりました。生徒数は 1 学期始業式時点の 75 名(小学部 62 名、中学部 13 名)からスタートし、その後 76 名に増え、3 学期終了時点で 75 名(同 60 名、15 名)と安定的に推移致しました。これにより学校財政については、学費収入に加え日本国政府からの補助金、皆様のご厚意による寄付(青島日本人会会員、個人等による任意寄付金、各種行事における寄付他)も頂き、また略予算通りに執行し、本年度も健全性が保たれました。

長年の当校の懸案であり、粘り強く取り組んできた学校ステータスの問題は大きく前進し、青島市政府の支援もあり民弁非企業証明書の取得に至りました。これも在青島日本国総領事館や関係者のご協力・努力の賜物かと存じます。関係者の皆様には心より御礼申し上げる次第です。

2019 年度、当学校運営理事会は新体制にて学校運営に真摯に取り組む所存です。青島日本

人会・会員の皆様の変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)
- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催(年 10 回)

- ・ 主催行事・活動
 - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会(4 月)
 - ✓ 青島日本人学校運営状況説明(2 月、入学説明会)
 - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会(3 月)

【学校案内】

名 称:青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長:金森 孝子(2017 年 4 月着任)

教職員:文部科学省派遣教員(校長含む)9 名、現地採用教員 4 名、
事務職員 3 名

住 所:青島市市北区同安路 56 号

学 費:入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月
(別途、スクールバス・PTA 会費他)

第2号議案

2018年度会計報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

2019年4月1日

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	699,230	1. 事務局費	240,287
		2. 商工会活動費	51,050
		全体会	31,150
		部会	16,150
2. 2018年度会費収入	674,000	地区分科会	3,750
法人会員	667,400	3. 生活文化関連費	90,283
個人会員	6,600	婦人会	1,800
		ちんたお文庫	31,616
3. 臨時会費収入	99,570	運動会	2,063
・総会懇親会会費	31,250	月刊青島	12,000
・新年会会費	68,320	歴史保存会	0
		納涼会	26,081
4. 銀行利子	12,231	公認同好会支援	16,723
		社会奉仕	0
		4. 会議費	105,885
		総会	32,200
5. その他(寄付、敷金返金等)	7,725	新年会	73,685
		5. 日本人学校支援費	121,168
		6. ジャパンデー等文化催事	10,010
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	874,073
		(学校支援金20万元含む)	
【 合計 】	1,492,756	【 合計 】	1,492,756

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第28期(2018年4月1日～2019年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2019年4月8日
青島日本人会 監事

中川伊正 

吉楯和明 

第4号議案

2019年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

名前		所属企業名	職位
理事	青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	總經理
理事	井上 薫	青島聯合包裝有限公司	總經理
理事	猪子 悟史	華夏世嘉(青島)娛樂遊藝有限公司	總經理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	吉川 宙	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	小松 宏彦	新日清製粉食品(青島)有限公司	董事長
理事	小林 祐介	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	總經理
理事	酒井 康雄	依摩泰(青島)商貿有限公司	總經理
理事	佐藤 冬樹	三菱日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	重岡 佐知子	日鉄住金物産(上海)有限公司 青島分公司	支店長
理事	杉田 貴史	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	總經理
理事	武田 裕之	青島新東機械有限公司	總經理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠(青島)有限公司	總經理
理事	端 彰一郎	東麗医療科技(青島)股份有限公司	總經理
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事	福永 護	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	藤井 伸明	三菱商事(青島)有限公司	總經理
理事	別所 良起	青島誠譽食品検測有限公司	總經理
理事	前田 逸朗	青島松下電子部品(保稅区)有限公司	總經理
理事	松沢 隆	丸紅(青島)有限公司	總經理
理事	松村 淑子	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	森 賢司	日郵物流(中国)有限公司青島分公司	總經理
理事	山本 正広	青島扶桑精製加工有限公司	副董事長
監事	中川 伊正	青島永旺東泰商業有限公司	總經理
監事	杉山 典久	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長

(1) 2019 年度事業活動計画

青島日本人会会長
能勢 稔彦

1. 全般

2017 年度に青島日本人会会長を務めさせて頂きましたが、2019 年度も青島日本人会会長に就任する事となりました。微力ではありますが、青島日本人会会員の皆様のお役に立てるよう精一杯務めさせて頂く所存です。

既に皆様ご承知の通り、今年は 6 月に大阪で G20 が開催される予定で、もちろん習近平総書記も参加されます。日中首脳会談も予定されており、昨年の日中平和友好条約締結 40 周年に続き、日中関係がさらに飛躍アップする環境で、経済交流の拡大が期待されます。

その一方で、国際的な「不確実性」は、さらに高まって来ており、予断を許さない状況は引き続き継続していきそうです。中国国内経済もその影響で 18 年の実質成長率が 28 年ぶりの低さとなり、日中関係の改善というフォローの風は吹いていますが、楽観的な経営環境とは言える状況ではありません。

また、青島日本人会においても解決せねばならない課題もあり、先ずはそれらの課題を解決し、青島日本人会の会員企業減少が進行している中でも、組織が上手く機能していくように体制を早急に整え、日本人会の設立趣旨・目的である「日本人および日本企業が、安全かつ快適に生活すると共に円滑な企業活動を継続」出来るように活動して行く所存です。

今年度の活動計画におきましては、在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所と緊密に連携させて頂き、また地元政府機関である青島市政府や地域とのコミュニケーションを重視しながら、日本人の生活環境、事業活動環境の整備向上のための活動を積極的に行っていきたいと思っております。会員の皆様におかれましては、更なるご支援とご協力、イベントへの積極的な御参加を宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ① 青島日本人会組織体制の整備・改善
- ② 日本人及び日本企業が、安全かつ快適に生活する、円滑な企業活動を継続する事に資するよう青島市政府機関との関係を強化し、日本人の生活環境及び企業活動環境向上のための活動を行う。
- ③ 青島日本人学校の運営を通じ、家族帯同者が安心して生活できる環境を維持、整備する。
- ④ 在青島日本国総領事館との連携を通じ、緊急事態発生時の対応整備、安全情報等各種情報の収集と発信を行う。
- ⑤ 在青島日本国総領事館のサポートを頂き、中国内の他地域日本人会、組織との交流及び情報交換を行う。
- ⑥ 地域貢献活動を行う。

(2) 商工会

商工会会長
重岡佐知子

1. 2019 年度の活動方針

3月に北京で開催された全国人民代表大会の席上で、李克強総理は2019年のGDPの成長について6%~6.5%という目標を立て、経済政策のポイントとして、次の方針を打ちだしました。

- (ア) 企業増値税の税率の引き下げ。製造業等の業界での現在の16%という増値税税率を13%に引き下げる。
- (イ) 企業の社会保険料負担の引き下げ。都市・鎮の従業員基本養老保険の企業負担割合を下方調整し、各地で16%まで引き下げることが出来る。
- (ウ) ビジネス環境を最適化し、更に多くの審査・認可・届出手続を簡素化する法規を公布する。
- (エ) 引き続き内需の潜在力を引き出す。

又、特に注目すべきなのは、米中貿易摩擦が継続しているという特殊な時期において、3月の全人代で「外商投資法」を異例の早さで可決させ、外国人投資家へ中国が更に対外的解放を拡大するというシグナルを発信したということです。この法律は、「外資三法」に代わる外国人投資の基礎となる法律であり、来る2020年1月1日から施行されます。これら中国政府の経済政策、税制、保険制度及び「外商投資法」という重大な法律の普及と施行は、外資系企業の中国における投資と事業運営に重大な影響を及ぼすため、これに関連する動向は、山東省と青島市の日系企業においても注目していくに値するかと存じます。

このような状況下、今年度の商工会の活動につきましては、従来からの活動方針を踏襲しつつ、大きく変化する経営環境とその先を見据えた中で、会員の要望を汲み入れながら進めていきたいと考えており、事業運営に必要な法律・会計・税制・労務制度とその動向や、社会、文化、習慣等の知識向上の情報提供をするとともに、会員企業が事業運営の円滑化や、持続的な成長の実現に資する活動や、商品・サービス等の提供や雇用などを通じて、地域社会に貢献する日系企業として、国内に快く受け入れられるようお手伝いする活動、等々を進めていきたいと思っております。

具体的には、以下の取り組みを進めてまいります。

- ① 工会内の4つの部会における情報交換会・見学会などの実施
- ② セミナー開催を中心とした情報提供や学習の場の設置
- ③ 政府関係機関との交流を通じて、情報交換を行うとともに、地域経済・社会に深く

関わる各企業の姿・活動をアピールし、理解と協力を求めること

2. 各部会活動について

商工会の部会活動は、業種・業界をベースとした、「食品部会」、「繊維部会」、「機械・電機・化学部会」及び「流通・サービス部会」の4部会に分かれて活動しておりますが、今年度も各部会は、それぞれの部会特性や置かれている経営環境などに応じて、セミナーや工場見学会の開催の他、懇親会など会員企業同士の交流の場の提供を進めてまいります。

これらの部会活動には、業種・業界の枠を超えた参加も推し進めていきたいと考えていますが、異業種間交流の場の設け方やあり方については、皆様からの意見を伺いながら進めていきたいと考えております。

3. セミナー開催について

昨年度は計 6 回のセミナーを開催し多くの方々にご参加いただきましたが、今年度セミナーにおきましても、多くの皆さまに参加していただけるよう、日系会員企業の皆さまへ、事業活動に必要な ^{and/or} 有益と思われるテーマ・内容を、ジェットロとの共催も含め、情報提供を行ってまいります。

4. 政府関係機関、地域社会との交流について

これまでも総領事館からの支援、ジェットロとの連携に加え、一部は中国政府からの協力も得ながら、青島日本人会としての政府関係機関との交流を推進し、関係を強化してまいりましたが、今年度も総領事館、ジェットロとの関係をさらに深め、さらに一方では会員各社の皆さまと市政府等とのパイプ役に務め、会員企業の事業活動の円滑化、あるいは抱えている問題の解決、日中経済交流の活発化、等々に対してお手伝いできればと考えております。

以上、青島日本人会商工会は、会員各社の皆さまのご意見ご要望をお聞きしながら、“皆さまの役に立てる活動”を進めていきたいと考えておりますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) 生活文化会

生活文化会会長

森 賢司

1. 2019 年度の活動方針

青島において日本人駐在員が年々減少している状況ではありますが、毎年新たに青島での生活をスタートされる方も多く見受けられます。日本人同士が心を通わせて、お互いにコミュニケーションを図ることができる場面を提供することを目的として活動してまいります。会員皆さま方のご意見を頂きながら、毎年実施しております恒例行事の継続は元より、昨年度実施した活動内容を更に充実させ、会員の皆様に楽しんでいただける、そして子供たちの笑顔が溢れる、参加しやすい行事の開催を目指してまいります。また、中国に暮らす我々が地域に何か貢献できないかという観点から、社会奉仕活動についても積極的に実施してまいりたいと思います。

生活文化会のメンバーもそれぞれが行事への経験を積んでまいりました。どのイベントにおいても、スムーズな運営ができるよう一致団結して、頑張っていく所存です。今年度も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

- ① 青島日本人会運動会、納涼祭り、新年会の企画実行
- ② 社会貢献活動の実施
- ③ 特別講演会等文化行事の企画開催
- ④ ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑤ 各同好会・婦人会への活動支援
- ⑥ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑦ 青島の文化・歴史についての調査、研究支援

(4) 青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井伸明

副理事長 佐藤冬樹

青島日本人学校は、青島日本人会が設立した、国際社会の中での将来を担う児童生徒の健やかな成長、学問習得を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

金森孝子校長の力強いリーダーシップの下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」をベースに 2019 年度は新たな中期目標である「多様性を理解し、自他を尊重しながら切磋琢磨する児童生徒の育成」を設定致しました。

児童生徒が中国青島の生活や学習を通して、世界には多文化、多言語、多様な価値観があることを理解すること、また、日本の習慣、伝統との比較検討することなどを通して、物事を多面的、複眼的に捉えることを重視致します。

また、少人数の学習指導と異学年交流の成果である家族的な関係を維持しつつ、お互いを尊重し向上し合い、高みを目指した人間関係の形成を重視します。

その実現に向け、日本全国から集まった個性あふれる教職員が熱心な指導を行い、「教育の機会均等」の精神に則り、日本国民としてふさわしい、質の高い教育を行います。そして青島の地域性を活かした教育課程を基礎に、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成をしていくものです。

青島日本人学校運営理事会は、当校の学校活動を全面的に支援し、健全運営のための議論を活発化させ、より良き学校運営に努める所存です。

今後も日本人学校の運営には様々な課題が生じるものと考えますが、在青島日本国総領事館、また青島日本人会会員の皆様のご支援を得ながら、今年度もひとつひとつ粘り強く取り組んでいく所存です。また、児童・生徒数の減少は一息ついており、学校財政の健全化は図られておりますが、一方では国際政経情勢は日々刻々と変化を続けており、そのため再度、財政難に陥る外部環境となる可能性も無しとは致しません。この魅力ある、素晴らしい学校を長く安定的に運営するための最善の方法を学校運営理事会としては真剣に考えていく所存です。

青島日本人学校運営理事会一同、精一杯努力して参りますので、皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

また小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、是非、青島日本人学校の素晴らしさについてお話し頂ければ大変ありがたく存じます。

第6号議案

2019年度予算案

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年4月13日

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金 (学校運営補助金20万元含む)	874,073	1. 事務局費	261,000
		2. 商工会活動費	67,000
		全体会	35,000
2. 2019年度会費収入見込	635,000	部会	20,000
法人会員(300社*2100元)	630,000	地区分科会	12,000
個人会員(25*200元)	5,000		
		3. 生活文化関連費	98,000
3. 臨時会費収入見込	110,000	婦人会	3,000
・総会懇親会会費	30,000	ちんたお文庫	22,000
・新年会会費	80,000	運動会	2,000
		月刊青島	12,000
4. 銀行利子見込	5,000	歴史保存会	2,000
		納涼会	35,000
		公認同好会支援	22,000
		4. 会議費	170,000
5. その他(寄付など)	0	総会	40,000
		新年会	130,000
		5. 日本人学校支援費	100,000
		6. 文化関連費	24,000
		7. 情報整理(HP改修等)	10,000
		8. 次年度繰越金	894,073
【 合計 】	1,624,073	【 合計 】	1,624,073